



偉人の言葉

「認められるまで、自分の道が正しいと思って頑張った。」

梶田 隆章(ノーベル物理学賞受賞者)

SSH探究IIの校内研究発表が行われました！！

12月18日(火)に、2学年理数科の生徒によるSSH探究IIの校内研究発表会が、球陽高校の理科教室を使って行われました。琉球大学の先生方にもお越し頂き、ポスター発表を通して研究の御助言を頂きました。さらに、今回は1学年理数科の生徒と球陽中学校の生徒もポスター見学に参加しました。沢山の人の見てもらうので、ポスターのA4白黒版も準備して、ポスター発表を来た人に配布しました。その他、生徒と職員に一言コメントを書いて頂くシート準備して配布しました。また、今回は2019年2月2日(土)に行われる球陽高校SSH生徒研究発表会で発表する代表グループを選出するために、各科目の担当の先生方の審査も行われました。選出されたグループは、口頭発表部門・英語ポスター部門・ポスター発表部門で発表します。

発表中は、審査員の先生からの質問で生徒と活発なディスカッションが行われました。大学の先生方から、中間発表よりもさらに研究を進められるように、各グループごとに御助言を頂きました。審査員からの様々な質問にも、全て科学的な根拠に基づいて一生懸命説明している生徒の姿が目立ちました。また、中間発表よりもよりスムーズに発表が出来るようになっていました。球陽中学生と1学年理数科の生徒も、真剣な姿勢で最後まで先輩の発表をよく聞いて、分からないところも積極的に質問をしていました。最後に、各分野ごとに大学の先生から講評を頂き、発表会を有意義に終えることができました。

〜〜2学年理数科の生徒の分野別発表振り返りシートより〜〜

・自分ではわかっていたつもりのもので質問でつっこまれると時々言葉に詰まったりしたから、ちゃんと調べて確認しようと思いました。・発表の仕方の大切さや自分がいかに理解できているかも大切であると感じました。・実験はあまり進んでいなかったが、そのような状況で思ったよりよい発表が出来た。・次の発表に向けてさらに実験を重ねていきたいと思います。・定義の仕方などの文章を書く時の注意も分かったので、次の発表や論文にいかそうと思います。・自分達が何時間かけて得た研究結果を10分以内でまとめて発表するのは難しいことがわかった。

球陽高校SSH生徒研究発表会(2/2開催) 代表グループ一覧

【口頭発表】

- 物理:「独楽の物理的解析」
- 化学:「ヘニポタルの忌避成分について」
- 生物:「ルリスズメダイの攻撃行動条件」
- 数学:「メビウスの輪を複数つなげて分割したときの規則性について」
- 地学:「球陽高校周辺の地下水・湧水と地質との関係性」

【ポスター発表(英語発表)】

- 物理:「ブロックタワーの倒れる条件とその応用」
- 化学:「ソテツと泥染めの関係」
- 生物:「リュウキュウマツが他の植物の発芽に与える影響」
- 地学:「沖縄ヤチムンと土壌」
- 数学:「図形が素図形になる条件」

【ポスター発表(日本語発表)】

- 物理:「レーザー光を用いたクント管内の定常波の可視化」
- 物理:「ピンポイントで音を聞けるスピーカーについて」
- 化学:「身の回りの植物でカビを防ぐことができるか」
- 化学:「色素増感型太陽光電池」
- 生物:「知花城跡における植生の現状と遷移」
- 地学:「土壌と植物～身近なものからpHを調整す～」
- 数学:「トランプのリフレッシュの規則性について」
- 数学:「フィボナッチ数列と合同式の関係について」
- 数学:「LEGO MIND STORM EV3～複雑なルートの攻略～」

♪代表に選出された上記のグループの皆さん！
♪おめでとうございます！！(^▽^)☆☆♪



↑2学年理数科の発表会場の様子です！！
1学年理数科の生徒も熱心に聞き入っています！！(^)♪♪